

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 1 月 17 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2025 年 1 月 10 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	マリアン大学(日本語名) Marian University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024 年 8 月~2024 年 12 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☐ 公立 ☒ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬~7 月下旬 2 学期: 9 月中旬~2 月上旬	1 学期: 8 月~12 月 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	5000 人程度
創立年	1851 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (USドル)	日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため
宿舍費	6925	約 105 万円	寮費及び食費が含まれている
食費	0	0 円	宿舍費に含まれる
図書費	74.9	約 11200 円	教科書のレンタル費
学用品費	60	9000 円	寝具(ベッド、枕、シーツ、毛布など)
携帯・インターネット費	約 105	15700 円	現地の e-sim 代
現地交通費	0	0 円	寮に住みのため(☐ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	約 300	5 万円	
被服費	約 650	10 万円	
医療費	0	0円	
保険費	約 700	約 10 万円	形態：怪我・病気のための保険と留学に関する保険二つに支払った
渡航旅費	約 1700	25 万円	
ビザ申請費	185	28000 円	
雑費	約 300	5 万円	日用品やお菓子など
その他	約 1400	約 20 万円	ロサンゼルスへの旅費
その他		円	
合計	12399.9	1818900 円	1ドル＝150 円で計算

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田 目的地：インディアナポリス 経由地：ホノルル、ロサンゼルス

復路 出発地：ローマ(留学後旅行にいったため) 目的地：羽田 経由地：トルコ

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：ハワイアン航空、デルタ航空 料金：125310

復路 航空会社：ターキッシュエアライン 料金：87280 ∴合計：212590

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(サイト名：trip.com)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前：Clare Hall) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学側が指定

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

汚い・臭いなど当初感じたが割り切って慣れれば潔癖症の人でも耐えられると思う。自分の寮は古かったが他の寮は新しかったので担当者に相談すれば自分の希望に沿ったものが見つかるかもしれないです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: 日本から持ち込んだ薬で耐えた)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: 保険会社)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

カードを不正利用される可能性があったのでカードを止めた

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

wifi は大学内では基本的に快適に接続できた、大学の外だと僕の地域はかなりひどかった

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

カードを基本的に利用し念の為 5 万円を出発の時に空港で換金して持っていった

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本食(持ち込み可能なもの)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
15 単位	☒ 15 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Public speaking	
科目設置学部・研究科	
履修期間	8-12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	20 程度のレクチャーと実践型授業(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Todd R. Logan
授業内容	講義名の通りスピーチについて練習し聞き手に効果的に自分の伝えたいことを届けるテクニックやテーマに沿ったスピーチの構成を学んだ
試験・課題等	基本的に成績は4回のスピーチとそれに対する事前準備の課題(構成をまとめたペーパー)、自分のスピーチの振り返りで採点された
感想を自由記入	英語で最大 8 分間自分の決めたテーマについてスピーチする機会があり英語で話す恐怖心を克服できたり英語でのスピーチの作り方に徐々に慣れることが出来た。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
general psychology		心理学
科目設置学部・研究科		
履修期間	8-12 月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Dr. Steinberg	
授業内容	基本的な心理学に関する知識を学んだ	
試験・課題等	各セクションごとのワークシートや2セクション程度の講義内容が含まれたテスト及び試験のためのクイズ、中間・期末ペーパー	
感想を自由記入	前半にかなり理系分野中心の内容を学びそれらは馴染みのないものであったためしんどかったが全体的に興味深く文系の自分には貴重なものとなった	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
introduction to sociology		社会学
科目設置学部・研究科		
履修期間	8-12 月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Dr. Bill Mirola	
授業内容	社会学の幅広い知識、理論、社会構造や問題について学んだ	
試験・課題等	学習しているテーマや題材に関するペーパー7 枚、講義に関連した文献やビデオを参考にしたクイズ、2セクション程度ごとのテスト、中間・期末テスト	
感想を自由記入	専門的かつ幅広く社会学者の理論や社会の構造や問題を身近に感じながら学ぶことができたと思う。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Global humanities	
科目設置学部・研究科	
履修期間	8-12
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Jamey Norton
授業内容	芸術、文学、音楽・映画の分野において人類が今まで生み出してきた世界中の人文 学の題材をもとに自らや人間について見つめ直し、視野を広めていった。
試験・課題等	毎授業前に予習の小テスト、月 2 回ほどのディスカッション、習った内容をオーバーラ ップしたテスト 3 回、期末課題で自分でテーマを設けたポスター
感想を自由記入	日本やアジア以外の馴染みのない文化について学び外国人と考えを共有したり話し 合うことができる有意義な授業であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Cross-cultural psychology	
科目設置学部・研究科	
履修期間	8-12
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、実践(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Holly Skillman,
授業内容	異文化を理解するために必要な能力を講義や講師を招いた実体験から学びながら 養い、自分の考え方を見つめ直す授業
試験・課題等	授業のリアクションペーパー、友達へのインタビューなどのフィールドワーク、自分でテ ーマをきめ研究して期末課題の作成
感想を自由記入	内容が当初難しくついていくのが精一杯であったが復習をすることで講義内容への理 解度が深まりなぜ異文化を理解することが難しく、どうアプローチしていくのが良いか学 べるきっかけとなった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEFL の勉強
	8月～9月	TOEFL の受験
	10月～12月	留学の申請や、希望留学先の選定
留学開始年	1月～3月	書類の提出、面接
	4月～7月	ビザの申請と取得、留学する大学との連絡及び履修の決定、航空券の取得
	8月～9月	渡米、学期開始
	10月～12月	10月頭に中間試験、12月第2週に期末試験、学期終了
留学/帰国年	1月～3月	帰国、留学後書類や単位申請願いの作成及び提出
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学は多額の費用がかかり、現地に行ってみないと実際にどのような生活を送るのかどうかさえ分からず日本にいと遭遇しないようなリスクにも晒される期間になります。しかし、日本で生活していると味わえない他国の文化や価値観、コミュニケーションの仕方など自身の人生にとって刺激の多い期間になると思われます。僕の場合アメリカの大学に1学期間のみ留学していましたが、アメリカ人だけではなくラテンの国出身者やヨーロッパから来た多くの留学生と関わり話す機会がありました。留学が始まったばかりの時はナーバスになるかもしれませんが自分の殻を破って積極的に行動してみてください！